

第121回

トラック運送業界の景況感（速報）

令和5年1月～3月期

日銀短観（3月調査）では、大企業製造業において原燃料価格が高止まり、海外需要の落ち込み、世界的な半導体市場の悪化等が影響し、5四半期連続で景況感が悪化した。

こうしたなか、トラック運送業においては、輸送数量の減少（宅配を除く）、燃料・車両・修理費・運転者人件費等の輸送原価の上昇分が価格転嫁できない深刻な状況が続き、営業利益及び経常利益は圧迫され、令和5年1月～3月期の景況感は▲34.8と前回より9.0ポイント悪化した。

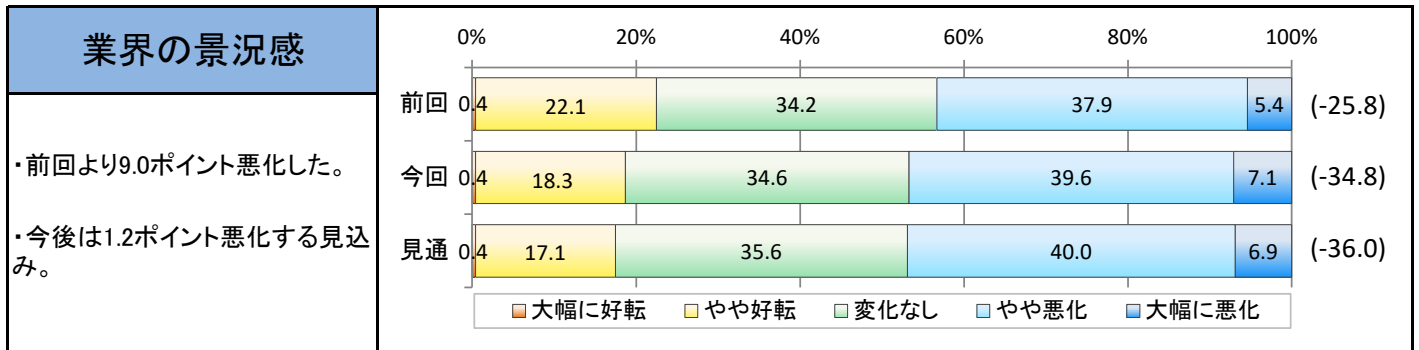
なお、今後の見通しは、燃料高、物価高等による輸送原価の増加による経常損益の悪化の見通しを反映し、▲36.0（今回▲34.8）と1.2ポイント悪化の見込みである。

令和5年5月15日

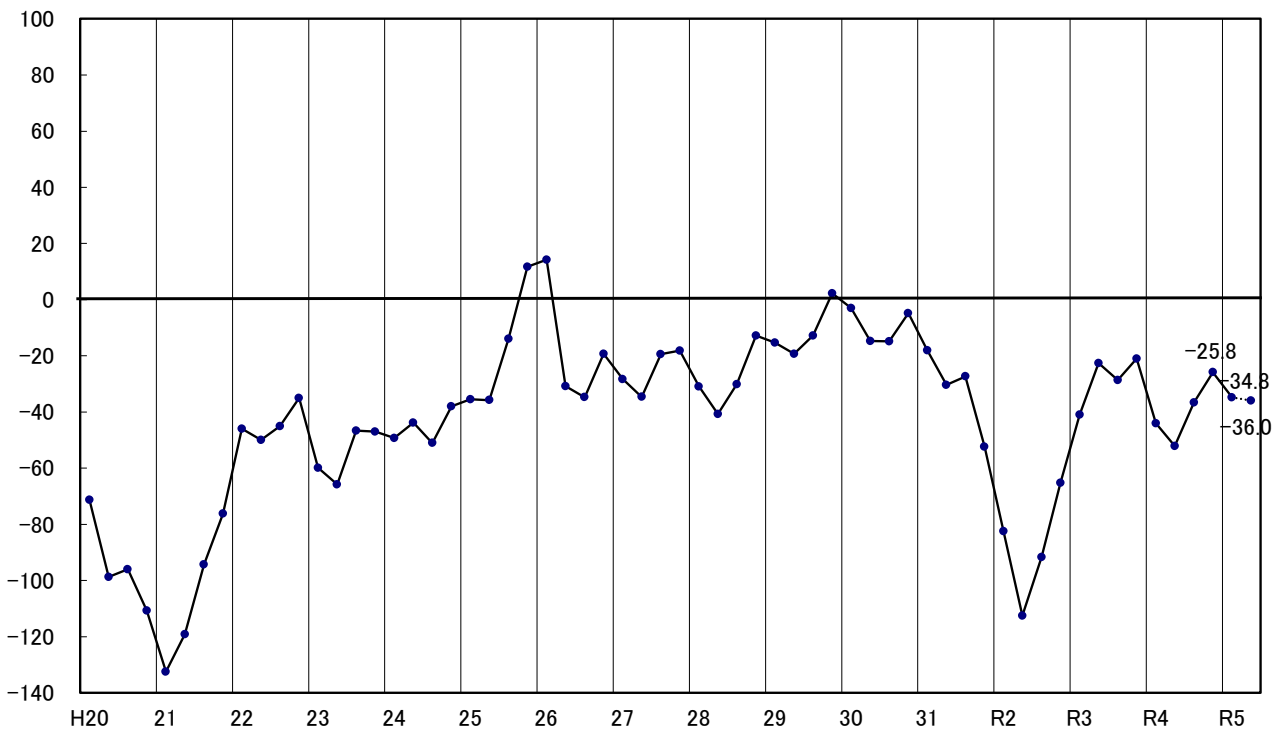
公益社団法人 全日本トラック協会

1 業界の景況感:今回(令和5年1月～3月期)の概況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> 燃料、車両、修理費、運転者人件費等の輸送原価は上昇基調にあるが、価格転嫁が遅々として進まず、さらに一般貨物、特積みの輸送数量の減少要因を織り込み、営業利益及び経常利益を圧迫したことから、業界の景況感は▲34.8と前回より9.0ポイント悪化した。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 今後の見通しは、燃料高、物価高による輸送原価増加による経常損益の悪化の見通しを反映し、▲36.0(今回▲34.8)と1.2ポイント悪化の見込みである。



トラック運送業界の景況感の推移(H20以降)



(注1) 各グラフ(3段の横棒グラフ)の上段は前回(R4.10月～12月期)の状況、中段は今回(R5.1月～3月期)の状況、下段は今後(R5.4月～6月期)の見通しを示す。いずれも前年同期比の回答である。

(注2) 各グラフ(3段の横棒グラフ)の構成比は四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。

(注3) 各グラフ(3段の横棒グラフ)右側にあるカッコ内は判断指数。各判断指数は、各設問の回答に対し、「大幅に増加・上昇・好転、労働力不足」は+2、「やや増加・上昇・好転、労働力不足」は+1、「横ばい」は0、「やや減少・低下・悪化、労働力過剰」は-1、「大幅に減少・低下・悪化、労働力過剰」は-2の点数に置き換え、平均を100倍することにより各判断指数を算出している。

A(設問Aの回答者数) = a1+a2+a3+a4+a5(設問Aの選択肢1～5の回答数の和)

指標 = {(+2×a1) + (+1×a2) + (0×a3) + (-1×a4) + (-2×a5)} ÷ A × 100

2 共通の概況①:今回(令和5年1月～3月期)の状況と今後の見通し

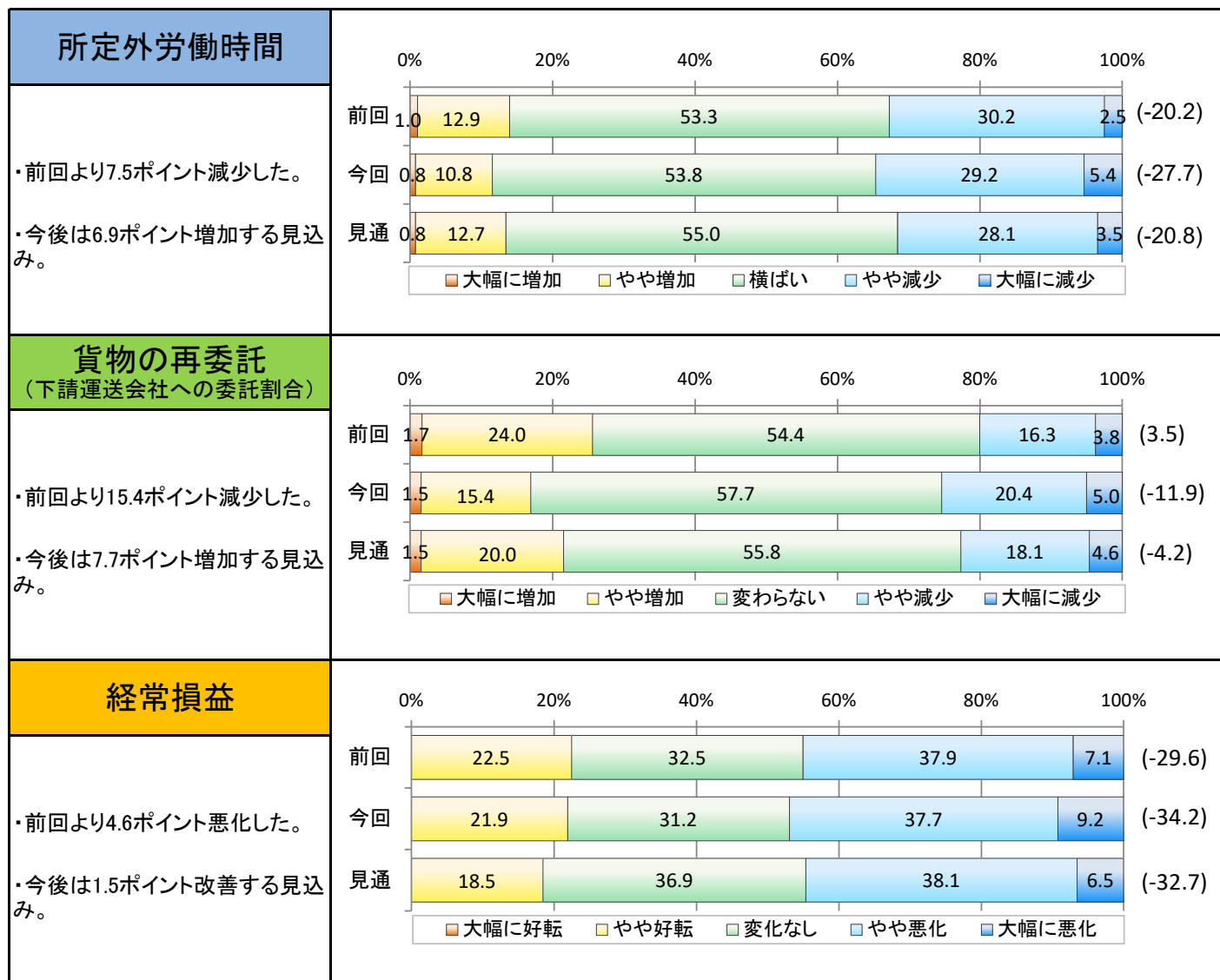
今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> 実働率は▲17.7(前回▲8.8)と8.9ポイント悪化、実車率は▲16.9(前回▲7.5)と9.4ポイント悪化し、輸送効率は悪化傾向に転じた。 運転者の採用動向は▲14.2(前回▲3.3)と10.9ポイント低下、運転者の雇用動向(労働力の不足感)は81.5(前回77.1)と4.4ポイント上昇し、運転者労働力の不足感は一段と強くなり、新型コロナウイルス感染拡大前の水準を超えた。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 実働率は▲16.9(今回▲17.7)と今回とほぼ同様の水準で、実車率は▲13.1(今回▲16.9)と3.8ポイント改善し、輸送効率はわずかながら改善する見込みである。 運転者の採用動向は▲16.5(今回▲14.2)と2.3ポイント低下、運転者の雇用動向(労働力の不足感)は94.2(今回81.5)と12.7ポイント上昇し、運転者労働力の不足感は強くなる見込みである。

実働率	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 24.0 47.5 24.4 4.2 (-8.8)</p> <p>今回 22.7 42.7 28.8 5.8 (-17.7)</p> <p>見通 21.9 42.7 31.9 3.5 (-16.9)</p> <p>■大幅に上昇 ■やや上昇 ■横ばい ■やや低下 ■大幅に低下</p>
<p>・前回より8.9ポイント悪化した。</p> <p>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</p>	
実車率	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 21.7 52.9 21.7 3.8 (-7.5)</p> <p>今回 18.5 50.0 27.7 3.8 (-16.9)</p> <p>見通 20.8 48.5 27.7 3.1 (-13.1)</p> <p>■大幅に上昇 ■やや上昇 ■横ばい ■やや低下 ■大幅に低下</p>
<p>・前回より9.4ポイント悪化した。</p> <p>・今後は3.8ポイント改善する見込み。</p>	
運転者の採用動向	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 0.8 18.8 61.3 14.6 4.6 (-3.3)</p> <p>今回 1.2 15.8 57.3 19.2 6.5 (-14.2)</p> <p>見通 1.2 16.5 53.5 22.3 6.5 (-16.5)</p> <p>■大幅に増加 ■やや増加 ■変わらない ■やや減少 ■大幅に減少</p>
<p>・前回より10.9ポイント低下した。</p> <p>・今後は2.3ポイント低下する見込み。</p>	
運転者の雇用動向 (労働力の不足感)	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 16.7 47.5 32.1 3.8 (77.1)</p> <p>今回 20.8 44.6 30.0 4.6 (81.5)</p> <p>見通 25.0 47.7 23.8 3.5 (94.2)</p> <p>■不足 ■やや不足 ■適当 ■やや過剰 ■過剰</p>
<p>・前回より4.4ポイント上昇した(不足感が強くなった)。</p> <p>・今後は12.7ポイント上昇する見込み。</p>	

(注4)雇用状況については、上段は前回(R4.10月～12月期)の状況、中段は今回(R5.1月～3月期)の状況、下段は今後(R5.4月～6月期)の見通しを示しているが、前回及び今回は前年同期比ではなく「その期の状況」を、見通しは「前年同期比の見通し」を集計している。

3 共通の概況②: 今回(令和5年1月～3月期)の状況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> 所定外労働時間は▲27.7(前回▲20.2)と7.5ポイント減少、貨物の再委託(下請運送会社への委託割合)は▲11.9(前回3.5)と15.4ポイント減少した。 経常損益は燃料価格の高止まりによるコスト増加に対する助成金効果も限定的となり、▲34.2(前回▲29.6)と4.6ポイント悪化した。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 所定外労働時間は▲20.8(今回▲27.7)と6.9ポイント増加し、貨物の再委託は▲4.2(今回▲11.9)と7.7ポイント増加の見込みである。 経常損益は▲32.7(今回▲34.2)と1.5ポイント改善する見込みである。



【調査の概要】

平成5年3月より開始、以降3カ月ごとに実施。第121回調査は、令和5年4月1日に、モニターに対して調査開始、令和5年4月30日回収分までを集計。

特積	一般	回答事業者全体
145	492	520

4 一般貨物:今回(令和5年1月~3月期)の状況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> 一般貨物では、輸送数量は▲24.8(前回▲4.6)と20.2ポイント悪化、運賃・料金の水準は17.9(前回19.6)と1.7ポイント悪化し、営業収入(売上高)は▲21.1(前回▲2.9)と18.2ポイント悪化した。 営業利益は▲30.1(前回▲16.3)と13.8ポイント悪化した。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 一般貨物では、輸送数量は▲14.2(今回▲24.8)と10.6ポイント改善、運賃・料金の水準は22.8(今回17.9)と4.9ポイント改善し、営業収入(売上高)は▲12.6(今回▲21.1)と8.5ポイント改善する見込みである。 営業利益は、▲25.2(今回▲30.1)と4.9ポイント改善する見込みである。

輸送数量	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 0.4 30.0 39.6 24.6 5.4 (-4.6)</p> <p>今回 24.4 35.0 32.1 8.5 (-24.8)</p> <p>見通 26.4 38.2 30.1 5.3 (-14.2)</p> <p>■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 横ばい ■ やや減少 ■ 大幅に減少</p>
運賃・料金の水準	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 30.4 59.6 9.2 0.8 (19.6)</p> <p>今回 28.9 61.4 8.5 1.2 (17.9)</p> <p>見通 35.0 54.1 9.8 1.2 (22.8)</p> <p>■ 大幅に上昇 ■ やや上昇 ■ 横ばい ■ やや下落 ■ 大幅に下落</p>
営業収入(売上高)	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 0.4 32.1 37.5 24.2 5.8 (-2.9)</p> <p>今回 0.8 28.5 31.3 27.6 11.8 (-21.1)</p> <p>見通 27.2 39.0 27.6 6.1 (-12.6)</p> <p>■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 横ばい ■ やや減少 ■ 大幅に減少</p>
営業利益	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 28.3 35.8 27.1 8.8 (-16.3)</p> <p>今回 0.8 25.2 28.5 34.1 11.4 (-30.1)</p> <p>見通 23.6 32.9 38.2 5.3 (-25.2)</p> <p>■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 横ばい ■ やや減少 ■ 大幅に減少</p>

5 宅配貨物:今回(令和5年1月～3月期)の状況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> 宅配貨物では、輸送数量は▲5.9(前回13.9)と19.8ポイント悪化し、運賃・料金の水準は▲5.9(前回5.6)と11.5ポイント悪化したことから、営業収入(売上高)は▲17.6(前回2.8)と20.4ポイント悪化した。 営業利益は▲23.5(前回8.3)と31.8ポイント悪化した。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 宅配貨物では、運賃・料金の水準は0.0(今回▲5.9)と5.9ポイント悪化するものの、輸送数量は▲5.9(今回▲5.9)、営業収入(売上高)は▲17.6(今回▲17.6)と横ばいの見込みである。 営業利益は▲35.3(今回▲23.5)と11.8ポイント悪化する見込みである。

輸送数量	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回は13.9ポイント悪化した。今後は横ばいの見込み。</p>
運賃・料金の水準	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回は11.5ポイント悪化した。今後は5.9ポイント改善する見込み。</p>
営業収入(売上高)	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回は20.4ポイント悪化した。今後は横ばいの見込み。</p>
営業利益	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回は31.8ポイント悪化した。今後は11.8ポイント悪化する見込み。</p>

※ 宅配貨物に関する回答事業者は一部に限定され、また回答サンプル数が少ないため、上記調査結果は宅配貨物を網羅的に評価した結果となっていない場合がある。

6 宅配以外の特積貨物:今回(令和5年1月~3月期)の状況と今後の見通し

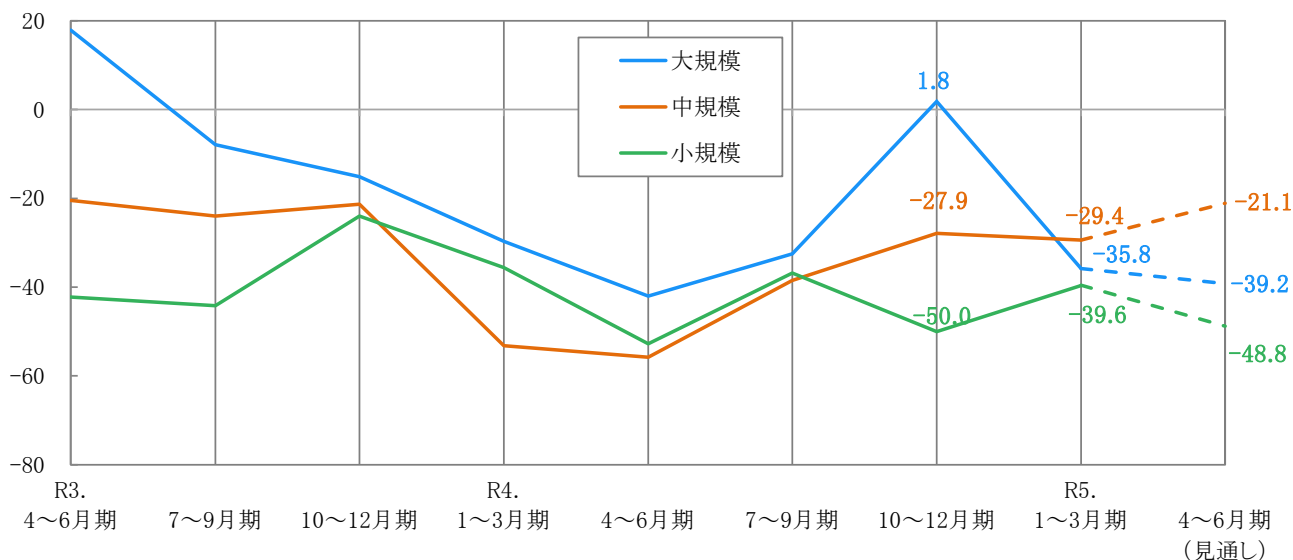
今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> • 宅配以外の特積貨物では、輸送数量は▲66.7(前回9.8)と76.5ポイント悪化、運賃・料金の水準は▲3.7(前回2.4)と6.1ポイント悪化したことから、営業収入(売上高)は▲66.7(前回8.5)と75.2ポイント悪化した。 • 営業利益は▲85.2(前回4.9)と90.1ポイント悪化した。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> • 宅配以外の特積貨物では、輸送数量は▲29.6(今回▲66.7)と37.1ポイント改善、運賃・料金の水準は7.4(今回▲3.7)と11.1ポイント改善の見込みであることから、営業収入(売上高)は▲44.4(今回▲66.7)と22.3ポイント改善の見込みである。 • 営業利益は▲85.2%から48.2ポイント改善し、▲37.0となる見込みである。

輸送数量	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に増加</th> <th>やや増加</th> <th>横ばい</th> <th>やや減少</th> <th>大幅に減少</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>1.2</td> <td>30.5</td> <td>46.3</td> <td>20.7</td> <td>1.2</td> <td>9.8</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>3.7</td> <td>44.4</td> <td>33.3</td> <td>18.5</td> <td></td> <td>-66.7</td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td>14.8</td> <td>48.1</td> <td>29.6</td> <td>7.4</td> <td></td> <td>-29.6</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計	前回	1.2	30.5	46.3	20.7	1.2	9.8	今回	3.7	44.4	33.3	18.5		-66.7	見通し	14.8	48.1	29.6	7.4		-29.6
項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計																							
前回	1.2	30.5	46.3	20.7	1.2	9.8																							
今回	3.7	44.4	33.3	18.5		-66.7																							
見通し	14.8	48.1	29.6	7.4		-29.6																							
運賃・料金の水準	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に上昇</th> <th>やや上昇</th> <th>横ばい</th> <th>やや下落</th> <th>大幅に下落</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td></td> <td>22.0</td> <td>61.0</td> <td>14.6</td> <td>2.4</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td></td> <td>22.2</td> <td>59.3</td> <td>11.1</td> <td>7.4</td> <td>-3.7</td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td></td> <td>29.6</td> <td>48.1</td> <td>22.2</td> <td></td> <td>7.4</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大幅に下落	合計	前回		22.0	61.0	14.6	2.4	2.4	今回		22.2	59.3	11.1	7.4	-3.7	見通し		29.6	48.1	22.2		7.4
項目	大幅に上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大幅に下落	合計																							
前回		22.0	61.0	14.6	2.4	2.4																							
今回		22.2	59.3	11.1	7.4	-3.7																							
見通し		29.6	48.1	22.2		7.4																							
営業収入(売上高)	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に増加</th> <th>やや増加</th> <th>横ばい</th> <th>やや減少</th> <th>大幅に減少</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>1.2</td> <td>29.3</td> <td>47.6</td> <td>20.7</td> <td>1.2</td> <td>8.5</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>7.4</td> <td>37.0</td> <td>37.0</td> <td>18.5</td> <td></td> <td>-66.7</td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td>11.1</td> <td>40.7</td> <td>40.7</td> <td>7.4</td> <td></td> <td>-44.4</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計	前回	1.2	29.3	47.6	20.7	1.2	8.5	今回	7.4	37.0	37.0	18.5		-66.7	見通し	11.1	40.7	40.7	7.4		-44.4
項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計																							
前回	1.2	29.3	47.6	20.7	1.2	8.5																							
今回	7.4	37.0	37.0	18.5		-66.7																							
見通し	11.1	40.7	40.7	7.4		-44.4																							
営業利益	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に増加</th> <th>やや増加</th> <th>横ばい</th> <th>やや減少</th> <th>大幅に減少</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td></td> <td>40.2</td> <td>28.0</td> <td>28.0</td> <td>3.7</td> <td>4.9</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>3.7</td> <td>29.6</td> <td>44.4</td> <td>22.2</td> <td></td> <td>-85.2</td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td>11.1</td> <td>44.4</td> <td>40.7</td> <td>3.7</td> <td></td> <td>-37.0</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計	前回		40.2	28.0	28.0	3.7	4.9	今回	3.7	29.6	44.4	22.2		-85.2	見通し	11.1	44.4	40.7	3.7		-37.0
項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計																							
前回		40.2	28.0	28.0	3.7	4.9																							
今回	3.7	29.6	44.4	22.2		-85.2																							
見通し	11.1	44.4	40.7	3.7		-37.0																							

7 事業者特性別の特徴①:規模別・品目別 業界の景況感

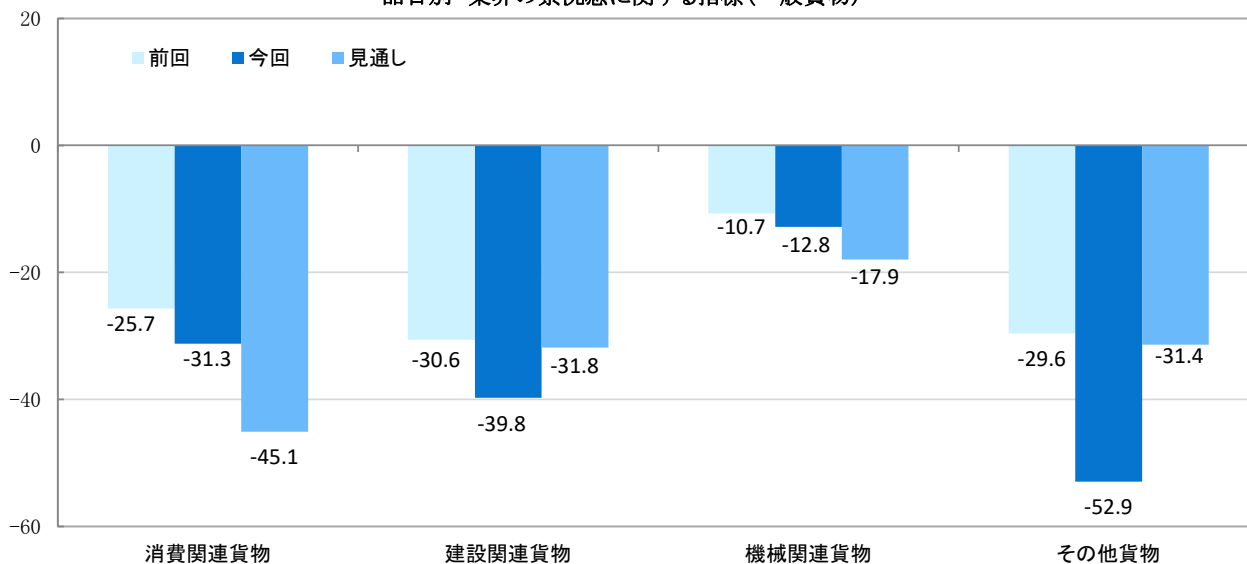
規模 (注5)	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模事業者：▲35.8(前回1.8)と37.6ポイント悪化、今後は▲39.2と3.4ポイント悪化見通し。 ・中規模事業者：▲29.4(前回▲27.9)と1.5ポイント悪化、今後は▲21.1と8.3ポイント改善見通し。 ・小規模事業者：▲39.6(前回▲50.0)と10.4ポイント改善、今後は▲48.8と9.2ポイント悪化見通し。
-------------------	---

事業規模別 業界の景況感に関する指標の推移 (R3.4~6月期より)



品目 (注6)	<ul style="list-style-type: none"> ・消費関連貨物：▲31.3(前回▲25.7)と5.6ポイント悪化、今後は▲45.1と13.8ポイント悪化見通し。 ・建設関連貨物：▲39.8(前回▲30.6)と9.2ポイント悪化、今後は▲31.8と8.0ポイント改善見通し。 ・機械関連貨物：▲12.8(前回▲10.7)と2.1ポイント悪化、今後は▲17.9と5.1ポイント悪化見通し。 ・その他貨物：▲52.9(前回▲29.6)と23.3ポイント悪化、今後は▲31.4と21.5ポイント改善見通し。
-------------------	--

品目別 業界の景況感に関する指標(一般貨物)



(注5) 規模別分類

大規模事業者：101両以上 中規模事業者：21両以上100両以下 小規模事業者：20両以下

(注6) 品目別分類

消費関連貨物：農水産品、食料工業品、日用品など

建設関連貨物：林産品、砂利、砂、石材、建設用資材、窯業品（セメント等）など

機械関連貨物：電気機械（家電含む）、輸送機械（自動車等）など

その他貨物：石炭、原油、石油、化学、紙・パルプなど

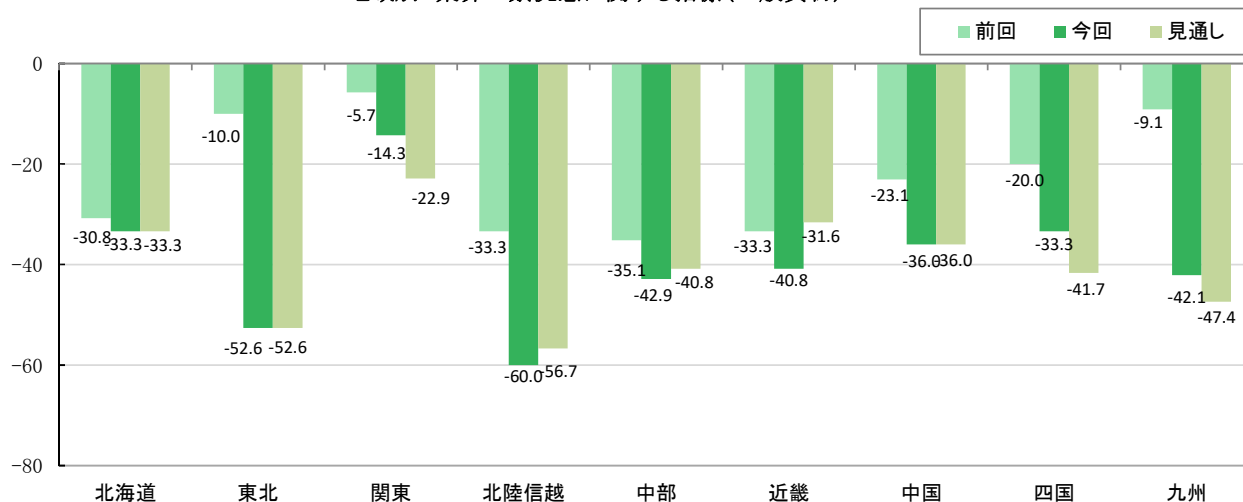
品目別業界の景況感に関する指標は、「一般貨物」の輸送品目について1位の回答を反映している。

7 事業者特性別の特徴②:地域別・事業形態別 業界の景況感等

地域 (注7)

- 地域別にみると、全ての地域において悪化した。
- 来期の見通しは、北陸信越、中部、近畿で改善し、北海道、東北、中国で横ばい、関東、四国、九州で悪化する見通しである。

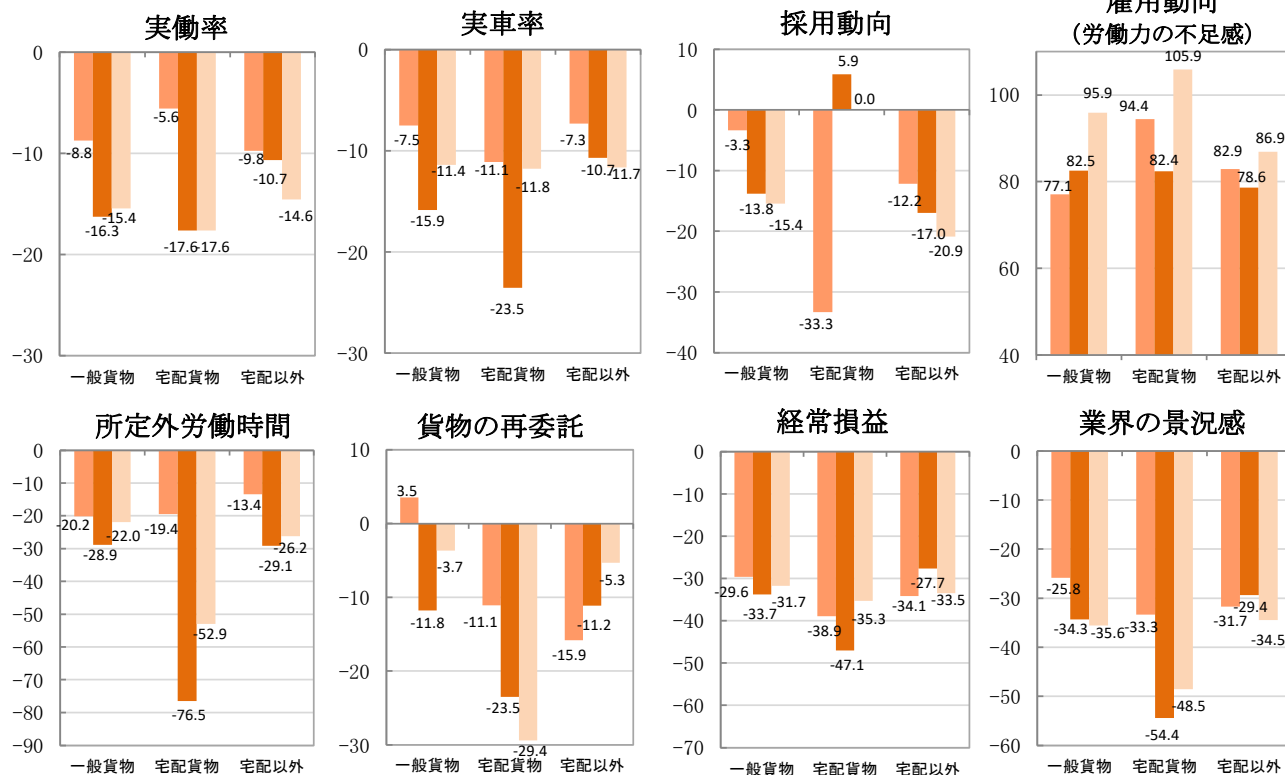
地域別 業界の景況感に関する指標(一般貨物)



事業形態別 (注8)

- 雇用動向(労働力の不足感)は前回と比較すると、一般貨物では不足感が強まる一方、宅配貨物、宅配以外では不足感は緩和したが、次回は不足感が強くなる見通しである。
- 燃料コスト、物価高による原価高足を運賃に円滑な転嫁が困難であることから、今期の業界の景況感は一般貨物▲34.3、宅配貨物▲54.4、宅配以外の特積貨物▲29.4となった。

前回 今回 見通し

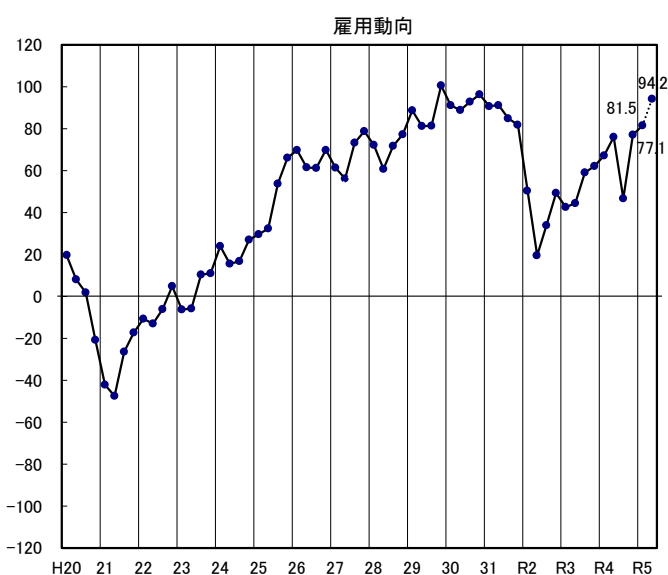
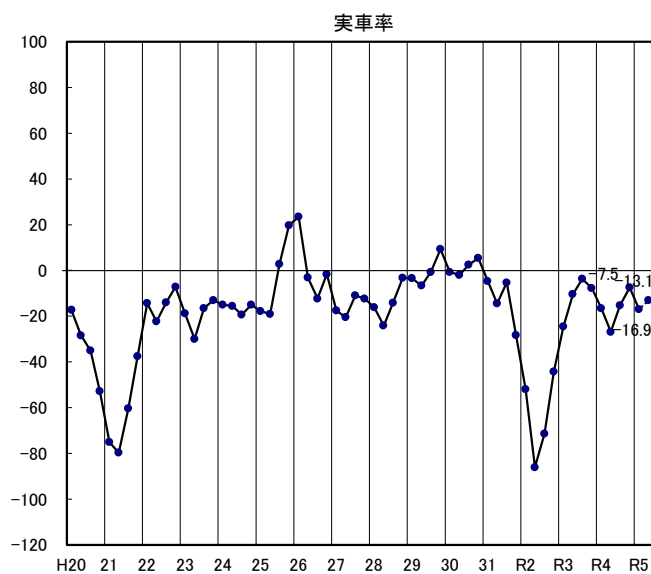
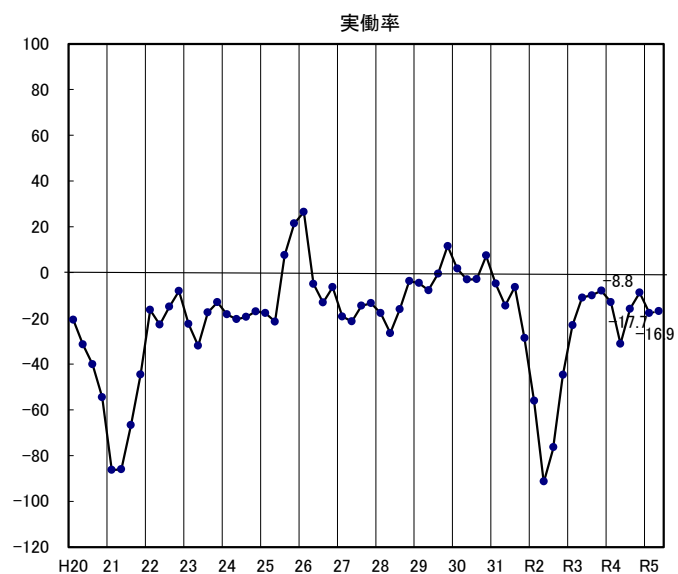


(注7) 地域分類は地方運輸局管轄地域区分に基づく。なお、グラフは一般貨物の事業者のみ集計している。

(注8) 事業形態の分類は、「一般貨物」及び「宅配貨物」「宅配以外の特積貨物」である。

8 業況判断指標の推移(平成20年～令和5年度第1四半期見通し)

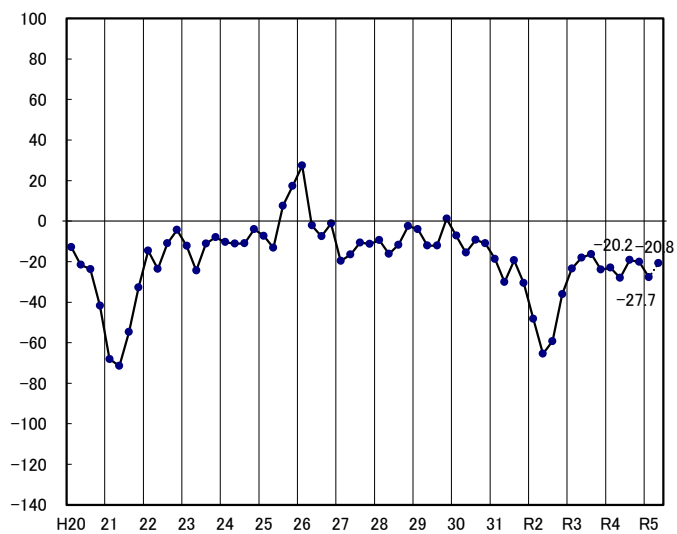
共通の概況①



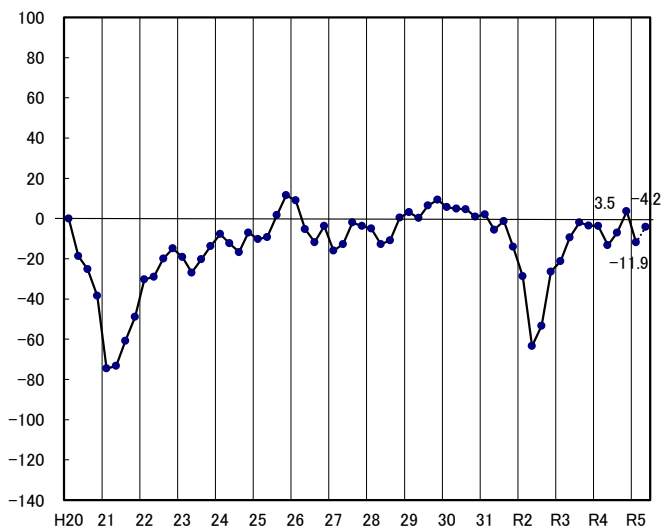
8 業況判断指標の推移(平成20年～令和5年度第1四半期見通し)

共通の概況②

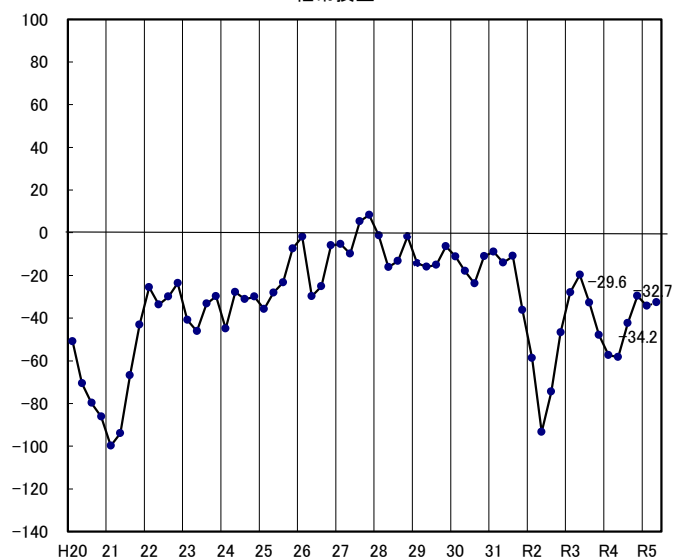
所定外労働時間



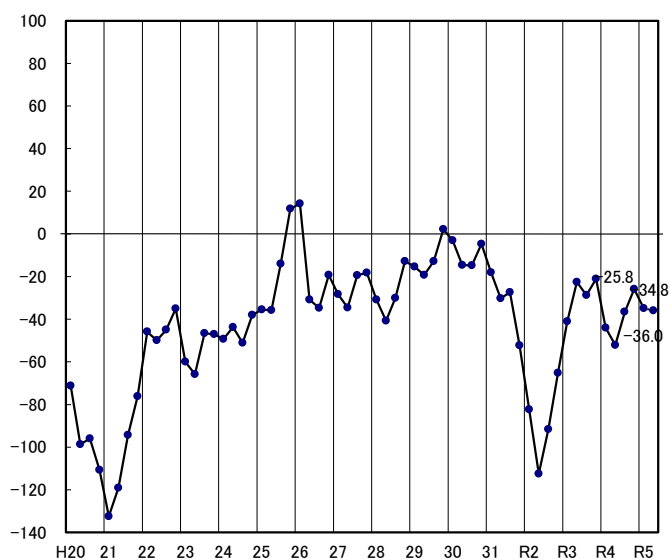
貨物の再委託



経常損益

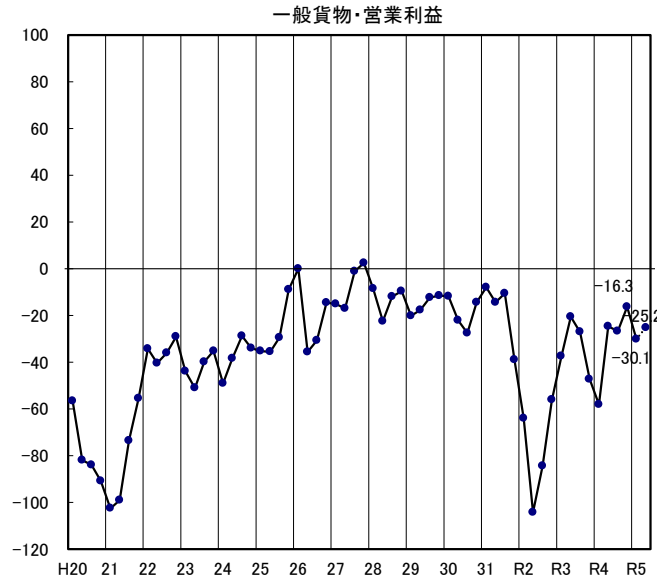
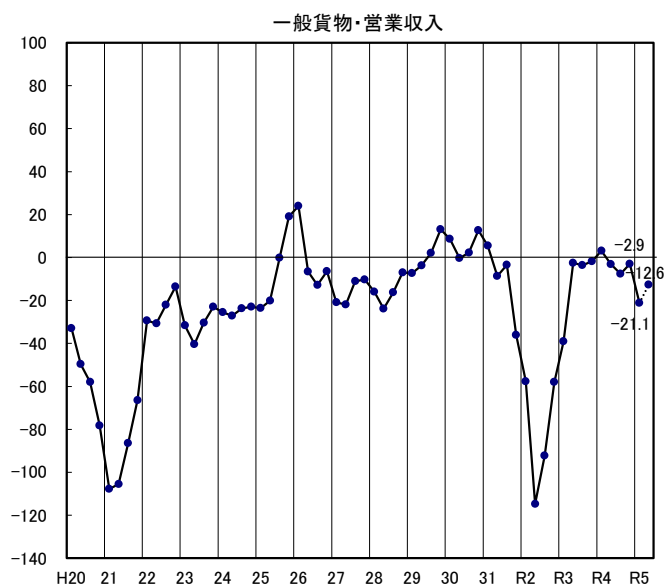
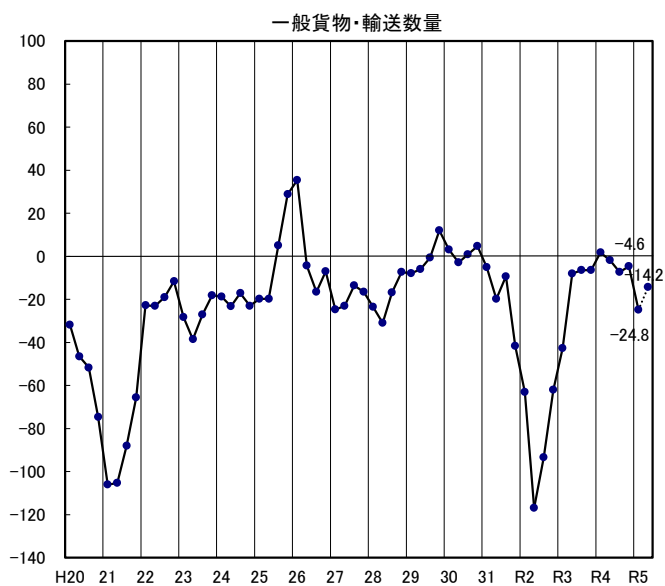


業界の景況感



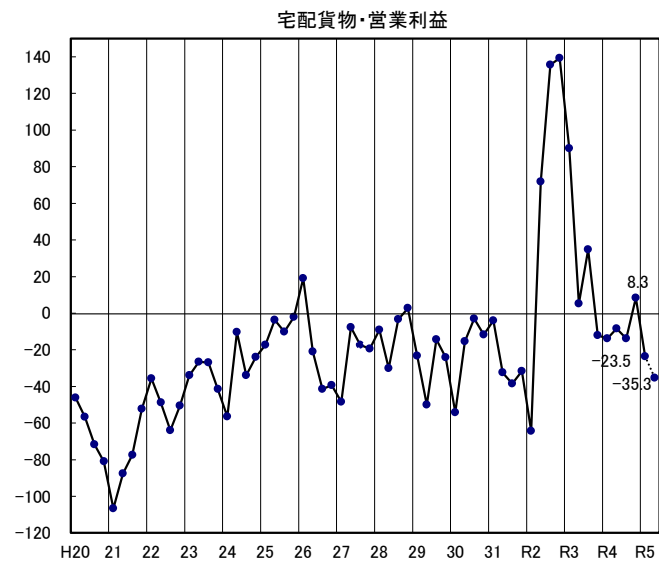
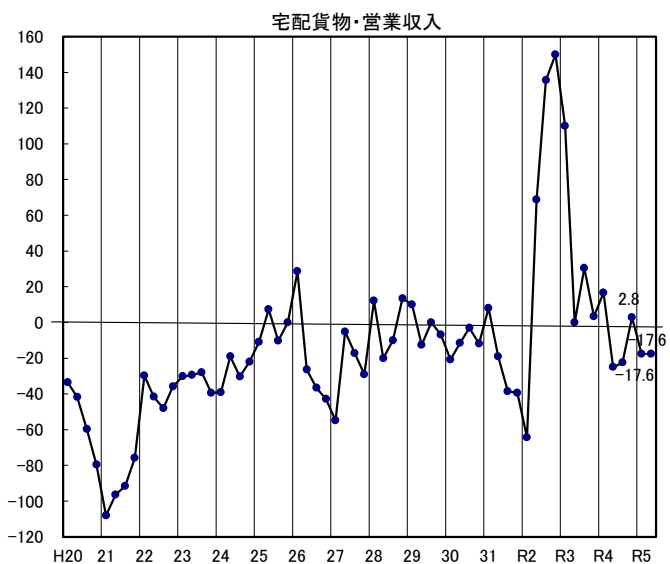
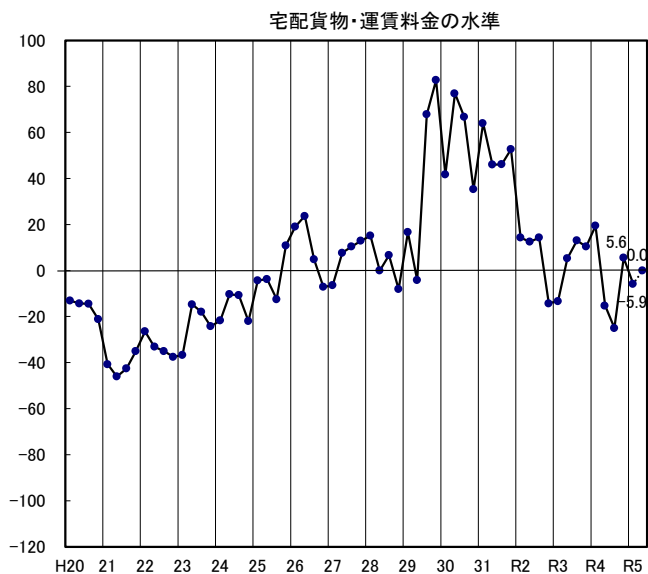
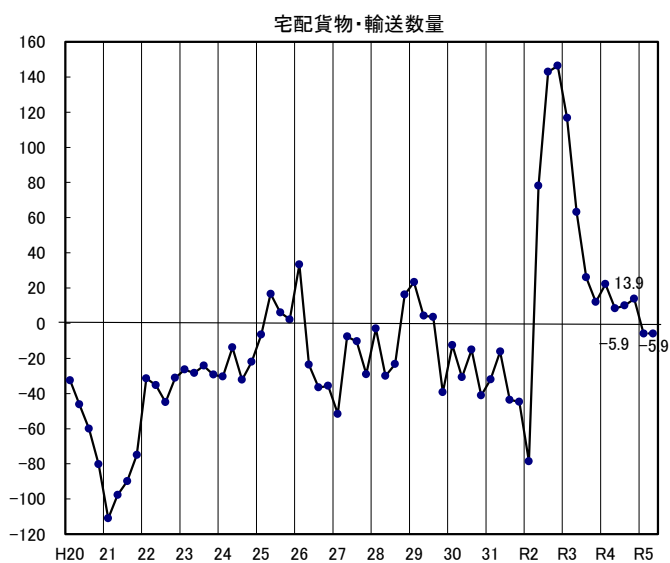
8 業況判断指標の推移(平成20年～令和5年度第1四半期見通し)

一般貨物



8 業況判断指標の推移(平成20年～令和5年度第1四半期見通し)

宅配貨物



8 業況判断指標の推移(平成20年～令和5年度第1四半期見通し)

宅配以外の特積貨物

